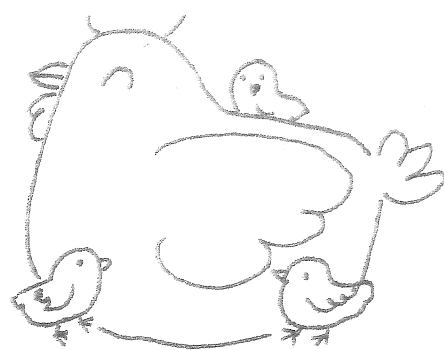


1月の 園便り



29年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

明けましておめでとうございます。皆様すがすがしい新年をお迎えのことと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

「生れる」というドキュメンタリー映画、ご覧になった方も多いと思いますが、この映画はとても素晴らしく感動する映画であり、家族の大切さを改めて見直すことが出来る映画…のようですね。私は見てはいないのですが、偶然テレビでこの映画の監督、豪田さんの言葉を聞いて「う・・・」となくなってしまったのです。乳幼児期は、愛されて育つことが大事であり、子どもたちが愛されていることを実感できる体験ができるように、そして一日に一回でいいので、心から「あなたが大好き」とか「あなたがいるからお母さん幸せ」などと言ってあげてください、と常々お伝えしていますが、それは子どもたちの自己肯定感を育むためなのですね、自分が大切に思われている、お母さんお父さんが、自分の存在を喜んでくれるという思いを感じて欲しいと思っているからなのです。“自分は大切な存在なのだ”という思いを持つことなく育つと、思春期に何らかの問題が出てきます・・・が、実際に豪田さんの“大人になっても子どもの頃に体験したことが影響していた”という話を聞いて、ここまで続くのか…と愕然としました。豪田さんは子どものころ、お母さんが体の弱かった弟さんにかかりつきりだったために、自分は愛されていないと思っていたそうです。本当はそうではなく、お母さんは精いっぱいやっていらしたのだと思いますが、豪田さんは“自分は愛されていない”と感じながら成長していったようです。親の愛情が子どもに伝わりにくい場合もありますが、こういう経験があって、家族に背を向けてきたので、家族はいらない、父親になりたくないと思っていたとのこと。そんな豪田さんでしたが、ある日「子どもは親を選んで生まれてくる」という考え方に会ってから、自分の親子関係を見つめなおそうと思って、家族を考えてみたいと「生まれる」という映画を作ろうと思われたそうです。子どものころ、親に愛されていないと思っていたことがこんなにも長く尾を引いていたことに驚きました。このことを知ってはいても、実際に豪田さんの話を聞いて、やっぱり愛情を言葉や行動で伝えなくてはならないと再確認した次第です。

お母さんからあなたが大事と言われて抱っこしてもらったり、お散歩したり、お膝の上で絵本を読んでもらったり、心と心を通い合わせることがいかに大事なことから・・・豪田さんは幸いにも、自分の親子関係を考え直すきっかけがあったので、結婚もされ、父親にもなったのでよかったですが、愛されていないと思い込んで、魂の根が張れず、浮き草の如く流れのままにあつちにこっちにさまよう状態になることもありますから、そうならないように、子どもたちに言葉や行動で伝えましょうね、「あなたが大好き！」と・・・

1月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
10	火	×	11:30	始業式	
11	水	×	11:30	餅つきの会を行います。お母さんのお手伝いと、お父さんの会の方々にもお手伝いをさせていただきます。降園時間が早いですが、よろしくお願いいたします。	
12	木	○	2:00	本日から給食が始まります。	
13	金	○	2:00		
14	土	/	/	第2土曜日	
15	日	/	/		
16	月	○	2:00	お父さんの会の方々が鉄芯コマの回し方のお手本を子どもたちに見せてくださいます。	
17	火	○	2:00		
18	水	×	11:30	誕生会です。 1月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう	
19	木	○	2:00		
20	金	○	2:00		
21	土	×	11:30	自由登園日	
22	日	/	/		
23	月	○	2:00		
24	火	○	2:00		
25	水	×	11:30	個人懇談	降園時間が早くなりますがよろしくお願いいたします。
26	木	×	11:30	個人懇談	//
27	金	×	11:30	個人懇談	//
28	土	/	/	第4土曜日	
29	日	/	/		
30	月	○	2:00		
31	火	○	2:00		